

現代都市居住におけるランドスケープイング手法、とくにグリーンインフラの研修

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2020年02月21日 ～2020年03月01日	日本	メージョー大学、チェンマイ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・建設工学専攻、建築工学科(修士2年生、学部4年生) ・建設学部、建築学科(学部1年生、学部2年生) 	(芝浦工業大学) 学生8名、TA2名、教員1名 (メージョー大学) 学生7名、教員1名 (チェンマイ大学) 学生6名、教員2名	清水郁郎(建築学科)



図1 本学及び参加校の参加者一同(最終講評会后)

タイ国立メージョー大学建築環境デザイン学部、チェンマイ大学建築学部を招聘して、国際交流プログラム「現代都市居住におけるランドスケープイング手法、とくにグリーンインフラの研修 Living with Green」を実施しました。東京を中心とする大都市のランドスケープイングの実際を、生態環境利用に着目しながら研修しました。3つの大学の混成チームが、大規模なウォーターフロント開発や親水公園を訪問し、また、東京駅、大手町などの再開発地区や都市緑地、街路空間の緑化を見学しました。月島では伝統的街並と住宅のサーヴェイからデザインリソースを探求し、それを実際の提案に取り込む設計を行いました。各班の提案は完成度が高く、議論も白熱しました。2日という作業時間を考えると、学生たちは力を合わせて課題を終わらせました。



図2 設計作業の様子



図3 親水公園の研修



図4 月島で成果報告